

「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の取組状況について

戦略4 元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略

◆ 主な数値目標：

- 脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率 H27目標 40.3 → 実績 38.5 (H26実績)
- がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率 H27目標 76.8 → 実績 86.5 (H26実績)
- 自殺による人口10万人当たり死亡率 H27目標 26.0 → 実績 (概数) 25.7

<平成27年度の主な取組状況>

1 元気で長生きできる健康づくりの推進

- ・生活習慣病予防の重要性周知やメディアを利用した減塩の啓発、「あきたタニタ食堂」と連携した減塩講習会や糖尿病予防講習会等を開催
- ・若い世代へのがん教育の実施や県全体で受動喫煙防止に取り組むためのガイドラインの策定などによるがん予防対策の推進
- ・一定年齢の者に対する胃がん検診無料クーポン券の配布やコール・リコールの全県展開を図るための人材育成の実施などによるがん検診受診の促進

2 いのちと健康を守る医療提供体制の充実強化

- ・在宅医療を担う人材育成、訪問診療に要する医療機器の整備を支援

3 高齢者や障害者等を地域で支える体制づくり

- ・認知症疾患医療センターの増設、認知症初期集中支援チーム員等の養成支援、認知症施策推進ネットワーク会議の設置や「認知症カフェ」の開催
- ・障害者相談従事者に対する研修による相談体制の充実、全国障害者スポーツ大会等への参加やいきいき芸術・文化祭の開催など社会参加を促進

4 民・学・官一体となった総合的な自殺予防対策の推進

- ・市町村や民間団体への助成や各種啓発、未遂者対策などの民学官連携による自殺予防対策の実施

<平成27年度「提言」に対する平成28年度の主な取組状況>

【提言1】総合的な健康づくりを目指す取組について

- ・受動喫煙防止対策ガイドラインに基づく受動喫煙防止に取り組む事業所等の登録制度を開始し、禁煙・分煙に取り組む店舗等へ表示ステッカーを配付
- ・がん罹患率が上昇する年齢層の検診受診を促すための検診費用の助成、県全体で受診率向上を推進するための「秋田県がん検診推進協議会」の開催

【提言2】地域で高齢者等を支える取組について

- ・認知症疾患医療センターの増設（基幹型、地域型、診療所型各1か所）、若年性認知症支援コーディネーターの配置
- ・高齢者虐待に関する研修会の開催、相談業務担当者へのカウンセリング及び助言指導の実施
- ・障害者に対する差別の禁止と合理的な配慮の提供について、県のホームページやリーフレットを活用して県民の理解を促進
- ・障害者虐待防止のため、障害者施設等の管理者等や市町村障害者虐待防止センターの職員を対象とした研修会を開催

【提言3】地域医療の充実について

- ・病床機能の分化・連携の促進に向けた地域医療構想の策定・周知と実現のための取組、地域医療構想調整会議の設置・開催
- ・救命救急センターや救急告示病院、周産期母子医療センター等の運営支援・機能強化

<今後の主な重点施策>

○ 元気で長生きできる健康づくりの推進

- ・食生活や運動習慣などの改善を通じた生活習慣病予防対策の推進
- ・関係機関との連携強化等による特定健診及びがん検診の受診率向上
- ・がん予防に関する啓発や検診体制の充実等によるがん対策の強化

○ いのちと健康を守る医療提供体制の充実強化

- ・医療・介護・福祉の連携強化及び在宅医療提供体制の充実
- ・中核病院の機能強化や医療従事者確保による医療提供体制の強化

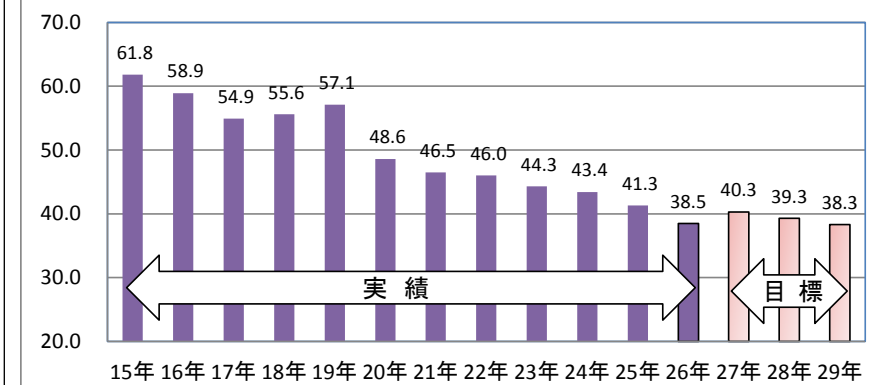
○ 高齢者や障害者等を地域で支える体制づくり

- ・大学等との連携による認知症支援体制の強化
- ・地域包括ケア構築に向けた介護・福祉人材の確保・資質向上

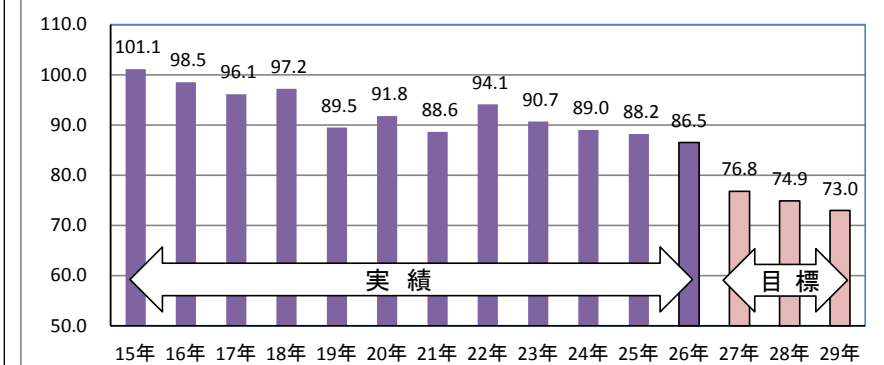
○ 民・学・官一体となった総合的な自殺予防対策の推進

- ・相談支援体制の強化や普及啓発の推進
- ・未遂者支援、うつ病対策の推進

脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率



がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率



自殺による人口10万人当たり死亡率

